

春…？

新生活…？

新学期…？

**いつだって休んでもいい。**

はりきる春を見ると、しんどくなるのは当たり前だよ。



NPO法人さいたまユースサポートネット  
<https://saitamayouthnet.org/>

# TSU NA GA RU

一人の子どもや若者も取り残さない社会をつくる  
さいたまユースマガジン

4 / 005  
2023

- つながる -



春うらら

特集

自立支援ルーム  
子ども食堂開催レポート

NPO法人さいたまユースサポートネット  
saitamayouth

令和4年4月発行

発行日:4月・7月・10月・1月の1日 / 発行者:さいたまユース広報 / 発行所:さいたまユースサポートネット(さいたま市見沼区堀崎町12-39)



## 新年度のご挨拶 ～2023年度に向けて～

さいたまユースサポートネットが浦和区岸町から、見沼区堀崎に本部拠点を移転して、3回目の春を迎えました。commonsカフェから見える堀崎中央公園の桜がとてもきれいに咲いています。

2022年度は、この堀崎拠点で、民間の助成を受け、経済的困窮などが原因で社会から孤立する子ども・若者たちに対し、居場所づくりと学習、文化・芸術、スポーツ、遠足に及ぶ体験活動に取り組みました。地域の住民や支援団体との協働で、多様な困難を抱える子ども・若者を包括的に支える仕組みづくり、「堀崎プロジェクト」をスタートしました。毎週開催された「ほりさきたまり場」と「体験活動」には、1000名を超える外国ルーツの子どもたち、多様な困難を抱えた子ども・若者たちが参加し、2か月に1回開催されたマルシェには、地元の農家さんや地域の市民グループの方々がお店を出し、地域の子どもたちがキッズダンスなどを披露してくれました。また、さいたまユースの居場所に参加する若者たちが、バンド演奏の練習の成果を地域の方々に披露する場面もありました。昨年度も年間を通して、お米の寄贈をいただいたり、居場所を継続するためのご寄付をいただいたり、ボランティアとしてご参加いただいたりと、多くの方々に活動を支えていただきました。

私たちが取り組む居場所づくり、学習支援、自立・就労支援の活動には、多様な背景を抱えた子ども・若者が参加しています。外国ルーツの子どもたちも多くいます。その中には、3年続くコロナ禍で、激増した不登校の子どもたちも参加しています。

文科省の調査によると2021年度の不登校の子どもたちは25万人、傾向のある子どもも含めると、40万人にのぼると言われています。中学校では100人の子どものうち5人の子どもが学校に登校しない、できない、という状況になっています。

新たな年度が始まる4月、さいたまユースは「地域との協働で一人の子どもや若者も取り残さない社会」を目標に、一緒に働きたいまユースの仲間、地域で子ども・若者たちを支える活動をしている団体、自治会の方々、社会福祉協議会や地元企業の方々、地域の応援してくださる方々と一緒に、孤立した子ども・若者たちを支える活動をさらに発展させていきたいと思えます。そして、さいたまユースが地域の子ども・若者支援のプラットフォームの役割を担えるような活動にしていければと思います。マルシェやカフェでのイベントも開催しますので、ぜひ多くの方に一緒に楽しんでいただけると嬉しいです。ご参加、お待ちしております！



(左)専務理事青砥祥子／(右)事務局長濱田真紀子

3月に入職した事務局長の濱田です。ここ堀崎拠点には利用者さん、市民の皆さん、視察のお客様などがひっきりなしに訪れて毎日賑やかに過ごしています。様々な人が集い、出会い、協働する場はまさに「地域の居場所」。安心して相談や仲間づくりができる場所であり続けられるように陰ながら支えて参ります。





# 子ども食堂 特集

2022年度開催



## あそぼっくすみぬま 子ども食堂 @あそぼっくすみぬま

2022年度は10月28日と2月24日の2回開催しました。あそぼっくすみぬまの児童に加えて、地域の子どもたちも参加しました。

同じ小学校の顔見知り同士と一緒に遊ぶ子もいれば、初めて訪れる場所で緊張する子もいましたが、スタッフがサポートしつつ、他の子どもたちと一緒に過ごしました。

1回目はカレー、2回目は焼肉丼のメニューで、おかわりする子どもたちが多くいました。少しの時間でしたが、子どもたちは楽しみながら過ごすことができましたようです。子どもたちの食べる姿や笑顔に、スタッフも癒されました。

2023年度も引き続き開催していく予定です（日時は未定）。

あそぼっくすって  
こんなところなんだ！



おいしそう~



たのしい!

## ほりさき コモンズ キッチン

@あそぼっくすほりさき



おいしい!

「ほりさきコモンズキッチン」は、さいたまユースサポートネットに併設されたカフェで開催しています。2022年12月14日のクリスマス子ども食堂から始まり、昨年度は3回実施しました。参加人数は、毎回30名を超えており、地域の子どもたちが一緒に食卓を囲む機会を提供しています。参加した子どもたちからは「楽しい美味しい」「コロナでなかなか友人と食事をする機会がなかったから嬉しい」などの声が上がっています。

2023年度も引き続き、開催していく予定です（日程は未定）。子どもたちだけでなく、地域の方とつながっていくきっかけとしても考えていきたいと思っています。



あそぼっくすみぬま

TEL : 048-720-8874

asobox.minuma@gmail.com

みぬまとほりさきの間違い電話が多いです。  
ご確認くださるよう、お願いいたします。



あそぼっくすほりさき

TEL : 048-829-7561

asobox.horisaki@gmail.com

## さいたま市 若者自立支援 ルーム



若者自立支援ルーム桜木/南浦和（以下、ルーム）では、さいたま市内に住む、義務教育終了から39歳までの学校や社会生活で生きづらさを感じている若者、不登校やひきこもりなどにより孤立をしている若者に安心して過ごせる居場所を提供し、一人ひとりのニーズに応じた個別支援を行っています。これまで桜木・南浦和ルームで延べ6万人もの利用がありました。

自立への道はさまざまです。例えば、就職することや進学することが必ずしもゴールではなく、継続できるように、または挫折してしまっても再び進路を再構築できるように寄り添っています。利用者は、将来の展望、家族・友人との関係、自己否定等で悩みながら自立への道を模索しています。そのため個別面談を行う公認心理師・臨床心理士、医療機関や学校等の機関につなげる社会福祉士、精神保健福祉士や、進学面の支援ができる教員経験者などが協力・連携して、心理面のサポートをしながら自立のための支援を行っています。

- 安心できる居場所を提供し、自立に向けた意欲を育てます
- プログラムなどを通じて、社会的な活動体験を重ねて自立のための力を育てます
- 一人ひとりの課題に対して、面談などによる個別支援を行います
- 様々な関連機関と連携して自立支援を提供します



## 利用者のステップアップに関して

バイト	24.0%	ハローワーク	6.0%
事業所	15.7%	サポステ	5.1%
はたチカ（内部機関）	15.2%	通所訓練中	2.3%
学校（復学、通学）	13.8%	ボランティア	1.4%
就労	8.8%	職業訓練校	1.4%
資格所得	6.5%		

表：利用者ステップアップ実績（重複含む）割合

左の表は令和4年度に、利用者が桜木、南浦和の両ルームに来所してからのステップアップ実績です。職員やボランティア、地域の人々と共にプログラムに参加し、定期的な面談を重ねていくことで、コミュニケーションスキルを高めていきます。利用者の生きづらさ、辛さは、人との関わりの中で回復していき、次へのステップに向けての意欲が生まれいくのです。

バイトや就労、学校への復学、資格習得など、利用者一人ひとりが、個性に応じたステップアップする姿を見せてくれます。



## プログラムの様子

ルームではプログラムを毎日1〜2種類開催しています。職員、外部講師、ボランティアに携わる地域の方が担当するプログラムは年間50種類以上あります。ここではその一部を紹介します。



### お話プログラム



みんなでテーマを出し合っておしゃべりするプログラムです。会話を楽しんだり一緒にTVゲームに取り組んだり、コミュニケーション系のワークに取り組んだりしています。会話の練習や、利用者同士の関わりの場になっています。

### 芸術プログラム



パステル画やペーパークラフト、UVレジン、ミサンガなどを作りました。塗り絵を色鉛筆や水性マーカーで塗ったりと、それぞれの好きなことに取り組んでいます。みんなで楽しく話しながら和気あいあいと活動しています。

### 演劇ワークショップ



青年劇場の劇団員の方を講師にお招きし実施しています。利用者だけでなく職員やボランティアも一緒に参加し演技を楽しみます。動きを付けて大きく演技する人、まずは本を読み徐々に慣れていく人、自分で台本を製作する人等、十人十色です。また、2022年度は利用者と一緒に、劇場で舞台鑑賞させていただきました。

### 学習系プログラム



職員や外部講師によって、生活に必要な知識や中学・高校の内容の学びなおし、人と関わるときの技術の勉強、脳トレなどしています。それぞれ真剣に取り組んでいました。



### ボードゲームサークル（桜木）



UNOやトランプなどみんなで楽しめるものや、ちょっと頭を使うものまで、様々なボードゲームを楽しんでいます。ほかの利用者と関わるきっかけづくりになっています。ボドゲサークルではボドゲカフェに外出することもあります。

### 音楽部（南浦和）



ギターやベース、ドラムやピアノなど、自分の興味のある楽器に挑戦しました。今年度はギターを始める人が増え、個人で集中して取り組んでいます。また、別日に合唱やハンドベルの練習もしていて、文化発表会では素敵な発表をすることができました。



# 協働

## 堀崎プロジェクト



## ほりたま

2011年の設立以来、さいたまユースは、地域との協働で子ども・若者を支える活動に取り組んできました。2021年にさいたま市見沼区堀崎町に本部拠点を移転してからは、地域の企業や学校、民生委員・児童委員、地元の企業、多様な活動を行う市民グループと連携しながら、地域のネットワークを作り、地域課題にも一緒に取り組む「堀崎プロジェクト」を新たにスタートしました。

2022年度は、休眠預金活用事業の助成をいただき、「困窮世帯の子ども若者の社会体験活動事業」に取り組みました。生きづらさを抱えた子ども・若者、外国にルーツのある子どもたち、地域の子どもたちに小学生から30代の若者を対象とした居場所づくり「ほりさきたまり場」や音楽、アート、スポーツ、遠足、演劇などの体験活動を通して、仲間づくりをする活動です。

## マルシェ



2022年度は、3回のマルシェを開催しました。マルシェでは、地元の農家さんの野菜販売、地域のハンドメイドグループ、障害者支援の団体のワークショップ、キッズダンスのグループのステージ、高齢者の方々のマジック、沖縄音楽グループ、など地域の市民団体の参加も増えた1年でした。さらに多くの就労支援の利用者が地域の方々と一緒に、ポップコーンやわたあめを地域の子どもたちに販売する姿も見られました。

## コモンズカフェ



カフェでは、アートなどのワークショップやJazzピアノコンサート、音楽イベント、近隣のみぬまハウスさん主催の「秋の音楽祭」などが開催されました。地域の方々の居場所として、ご利用いただいています。2023年4月からは、オレンジカフェ（認知症カフェ）としてもご利用いただけます。また、2022年12月から、月に1回ほりさきコモンズキッチン（子ども食堂）も開催しています。

## 運営協議会



地域の自治会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、多文化共生に取り組む市民グループ等に参加して頂き、さいたまユースの堀崎プロジェクトの活動をご報告し、頂いたご意見をイベント、活動に活かしています。今後は地域の市民の方々の参加でコモンズとしての活動に発展させていきたいと思ひます。

## 評価委員会



立教大学、一橋大学、埼玉大学、文教大学などの研究者に評価委員会に参加して頂き、地域ニーズの拾い方や支援の手法のアドバイスや、事業の方向性について、貴重なご意見を頂きました。さらに研究活動を市民と共有できるように発展させていきたいと思ひます。

地域とつながる、あなたとつながる。

## 社会とともに歩む「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動に取り組む

当社は互助会事業を中心に、冠婚葬祭事業、その他ケータリングサービスや送迎バスの運行業等も行なっております。この埼玉県を創業の地として60年以上、県内には結婚式場が9ヵ所、葬儀施設が90ヵ所以上と、広く地域の皆様のお手伝いをさせて頂いております。これまでたくさんの地域の方々に支えられ、ここまで成長することができたことに感謝しております。

そして、今後70年そして100年企業を目指す当社としては、これから先は地域の皆様への恩返しをするべきと考え、まずは地域の、そして日本の未来でもあります「子ども達」への支援活動を実施しております。

その中でも特に「食」に関しては生きる上で欠かせないものであり、全ての子ども達に平等に与えられるべきものであります。『**地域全体で子育てをする**』を合言葉に私たち企業に何が出来るかを考え、手探りではありますが、少しずつ実行しております。

現在の活動内容としては、子ども食堂やフードパントリーなど、この「食」を通じてコミュニケーションを図り、普段の生活では感じることのできない雰囲気の中、非日常的な空間を味わって頂けるようなお手伝いをさせて頂いております。

また、マイクロバスを利用して、高校生たちの為の課外活動として「職業体験」の交通手段としてもお手伝いをさせて頂いております。

当社が所有しております「モノ」によって、これまで出来なかったことや行けなかった場所に行けるようになることによって、様々な経験やふれあいの輪を広げることにもつながり、子どもたちの成長の糧にして頂けると幸いに存じます。

これからも、さいたまユースサポートネットの皆様と協力をしながら、可能な限り、子ども達の支援活動のお手伝いを積極的に行っていきたいと思っております。



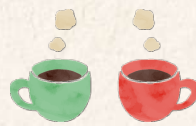
アルファクラブ武蔵野株式会社様とユースとのつながり

埼玉県立大宮工業高等学校の「社会体験事業」にマイクロバスをご提供いただいたアルファクラブ武蔵野株式会社様にご寄稿いただきました。



### 《 応援プログラム 》

あなたのおかげで、  
できることがたくさんあります。



たとえコーヒー 1日 1杯分のご寄付でも子どもや若者たちを救えます。

月1,000円

食事を児童3人に1日提供できます。児童に勉強を教えることができます。

月3,000円

食事を児童3人に3日間提供できます。子ども1人に体操着・上ばきなどを提供できます。

月5,000円

食事を児童3人に5日間提供できます。絵具、書道セットなどを提供できます。

貧困、いじめ、不登校、引きこもり、障害、高校中退……生きづらさを抱えた子どもや若者たちがいます。その困難が、「社会の中で見えづらくなっている」そのこと自体が私たちの課題です。

お金だけではなく、物品のご提供でも  
子ども・若者支援のチカラとなります。

子ども・若者のために  
寄付をする

